

岡山県備前市日生方言のアクセント資料

中澤 光平

1 本稿の目的

本稿では、岡山県備前市日生町日生（ひなせ）で話されている日生方言のアクセント資料を提示するとともに、若干の分析と考察を行う。

2 日生町および日生方言について

2.1 日生町について

備前市日生町は岡山県の南東部に位置し、兵庫県と接している。1955年に和気郡の(旧)日生町と福河村（ふくかわそん）が合併し(新)日生町となったが、2005年に(旧)備前市、和気郡吉永町（よしながちょう）と合併し(新)備前市の一部となった。日生町の面積は35.91 km²で、日生、寒河（そうご）、大多府（おおたぶ）、寺山（てらやま）の大字からなる。日生町日生の人口は3214人である（令和4年1月31日現在）¹。

沖には日生諸島があり、岡山県内で最大の島である鹿久居島（かくいじま）をはじめ、頭島（かしらじま）、鴻島（こうじま）、大多府島の4つの有人島がある。

2.2 日生方言について

日生方言は日生諸島を含む日生町日生で話されている²。(旧)備前市を含む、他の備前地方の言語とは異なっているという（日生町教育委員会1986、浜野2008）。

3 先行研究

日生方言のアクセントの先行研究には、岡山県全域のアクセントを調査した虫明（1954）、

¹ <https://www.city.bizen.okayama.jp/soshiki/10/4519.html> より（2022年2月14日閲覧）。

² 日生諸島のうち、大多府島は邑久郡から入植があった島で、方言も日生町とは異なっているという。

日生町寒河と日生のアクセントを報告した中井 (2002)、日生方言の数詞のアクセントを記述した中井 (2008)、日生町日生の出身者によるアクセント付き語彙集である浜野 (2008) などがある。

3.1 日生方言のアクセントの共時体系

日生方言を含む岡山県の方言は、東京と同様に H (高) から L (低) へのピッチの下がり目 (下げ核) が弁別的だが、撥音、引き音、二重母音ーイも下げ核を担え、助詞が付かないと平板型 (下がり目なし) と尾高型 (語末に下がり目あり) は区別できない。

- (1) a. 灸 (きゅう)、運 (うん)、甥 (おい) HH(-H)
b. 三 (さん)、悔 (くい) HH(-L) (中井 2002: 57 より)

3.2 日生方言のアクセントの類別体系

日生方言のアクセントの特徴は類別体系にあると言える。現代諸方言と文献資料から設定される日本語祖体系のアクセントの対立グループを類といい、各級の所属語彙を類別語彙という (上野 2006: 2-6、松森ほか 2012: 191)。(2 拍名詞の) 類の統合の仕方を類別体系と呼び (上野 1985a: 219)、「○○式」の名称が与えられる。2 拍名詞に立てられる第 1 類～第 5 類の 5 つの類 (金田一 1974: 63-64) のうち、京都市や大阪市のように第 2 類と第 3 類が統合している (II-1/2・3/4/5 と表す) 類別体系を「中央式」と呼ぶ (上野 1985a: 223)。II-1/2・3/4・5 の類別体系のうち、1 拍名詞の第 2 類と第 3 類が統合している (I-1/2・3) 体系を「内輪式」、I-1・2/3 の体系を「中輪式」と呼ぶ (上野 1987: 44)。東京や広島市の方言は中輪式にあたる。これらの方言では 2 拍名詞の第 2 類と第 3 類が統合している。

日生町寒河方言は II-1/2・4・5/3 の類別体系として知られ (虫明 1954: 38)、「寒河式」と呼ばれる。寒河式では 2 拍名詞の第 2 類と第 3 類が統合していない。中井 (2002) は、日生方言でも、2 拍名詞第 3 類がほぼ尾高型で統一されているのに対し、第 2 類にはある程度頭高型 (HL) が見られることから、日生町日生を含む岡山県東部の祖体系が、中央式のよりに第 2 類と第 3 類の統合が生じた体系ではなかったことと唆すると述べる (p.58)。

3.3 先行研究の課題

日生方言の類別体系は、内輪式 (II-1/2・3/4・5) と寒河式 (II-1/2・4・5/3) の中間であり、本

来の体系はどちらかが問題になる。それを明らかにするためには、3 拍以上の語を含む岡山県一帯のアクセントデータが必要だが、既存の資料は 3 拍までの名詞約 2100 項目と動詞約 500 項目、形容詞約 200 項目のアクセントを挙げる中井 (2002) および俚言約 1700 項目のアクセントを挙げる浜野 (2008) のほか、特殊拍がアクセント核を担う方言の一つとして上野 (1985b) に挙がっているのが比較的まとまった資料で、特に拍数の多い語については十分な量の報告がない状況と言える。

4 調査

日生方言の長い単語を含むまとまった語彙アクセントを明らかにするため、岡山県備前市日生町日生にて方言調査を行った。

話者は谷脇輝彦 (たにわきてるひこ) さん (1941 年生男性、日生町日生生え抜き)。調査方法は、2020 年から始まった新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の対面調査が困難になったことから、それに代わる方法として調査票と録音機を郵送する遠隔調査を行った。録音機はパナソニック RR-XS470 を使用し、WAVE 形式 44.1kHz ステレオで録音した。調査リストには日生町教育委員会 (1986) を用いた。遠隔調査は 2021 年 3 月に行った。調査結果を整理後、東京都の緊急事態宣言が 2021 年 9 月 30 日に解除されたのを受け、2021 年 10 月に対面で簡単な確認調査を行った。遠隔調査という新たな方法に快く応じてくださった谷脇さんにお礼申し上げる。

5 結果

1854 項目を調査し、不使用だった 90 項目以外の音声資料が得られた。調査結果は 6 節に資料として挙げるが、原則として単独読み上げのため、平板型と尾高型の区別ができないことから、ピッチの下がり目のない発話 (平板型か尾高型) は今回の資料から除外した (ただし、動詞と形容詞は尾高型が基本的にならないため平板型と見なして資料に含めた。また、尾高型とわかった一部の項目については語末に] を付けた)。また、助詞や助動詞など、単独の読み上げがアクセント資料としてほとんど意味をなさないもの、明らかに読み間違いと思われるもの (疑いにとどまるものは残した)、無声化や音声不明瞭のためにアクセント認定を保留したものもデータから外した。その結果、1166 項目が今回掲載する資料となった。音量の自動調整がうまく機能しなかったためか、音割れがかなり見られたものの、アクセントの判断に大きな支障はなかった (ピッチ曲線など、図 1 を参照)。

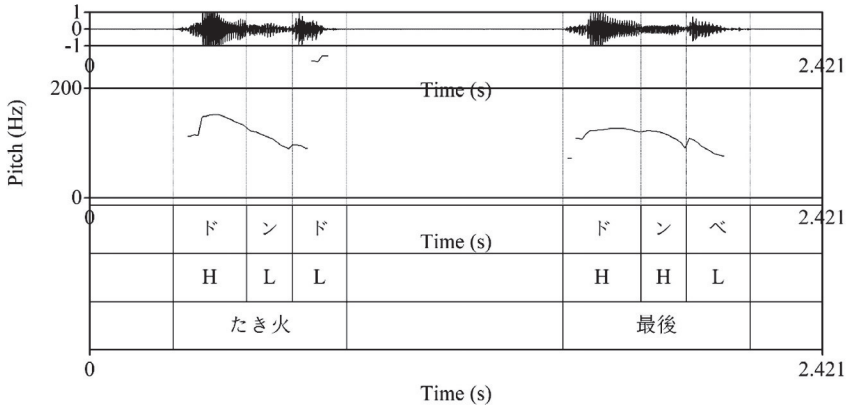


図1 ドンド (HLL、たき火) とドンベ (HHL、最後)

ここでは調査結果のうち今回の調査でわかった2点について述べる。

5.1 4拍以上の頭高型

4拍(以上)の頭高型(語頭に下げ核がある型)の語は東京では外来語を除いて「オーカミ、コーロギ、シータケ、カンヌシ、タイマツ」や「アトサキ、シロクロ、タテヨコ」のように、特殊拍が関わるか畳語や同位構造を持つ複合語にほぼ限られるが、日生方言では東京より頭高型が多いようだ。動詞にも頭高型がかなり見られる。

- | | | | | |
|--------|--------|--------|----------|-----------|
| (2) a. | エ]コヒキ | 不公平 | ツ]モゴイ | 晦日 |
| | オ]トガイ | あご | ド]カグイ | 一気に食べる |
| | オ]トドイ | 兄弟、姉妹 | ナ]マハンジャク | 中途半端 |
| | カ]タクワ | 変わり者 | ニ]ヨイサマ | 仏 |
| | カ]タツラ | 片方 | ヒョ]コナゲナ | 格好が変な |
| | コ]ツモゴリ | 大晦日の前日 | フ]キバナ | リンドウ |
| b. | カ]チコム | 叩き込む | テ]チメグ | ぶち壊す |
| | カ]チマス | 殴る | テ]ドラス | 殴る、暴力をふるう |
| | シ]クサル | する | ド]シコム | 押し込む |
| | ネ]トボケル | 寝ぼける | ヒ]コワル | 乾いて強張る |
| | ハ]リマワス | 打つ | へ]シマゲル | 折り曲げる |
- (] はピッチの下降)

東京でも古くは「古里、ミミズク、山寺」などが頭高型だった（上野 2003: 82）から、日生方言の頭高型も古態の保持かもしれない。

5.2 2 単位形あるいは重起伏調

2 文節からなる明確な 2 単位形のほか、アカベ HLM「駄目、不同意」やコラエタラン LHLMMM「勘弁してやらない」のような重起伏調がかなり観察された。

- (3) ク]エ[マ]ー 食べなさい ジ]ワ[ジ]ワ だんだん
 ソレ]グ[レ]ー それぐらい ソ]ー]ジャ[ナ]ー そのようですね
 シモ]タ[カ[エ こんばんは（挨拶） ハ]ヤ]イ[ノ]ー おはよう（挨拶）
 ショ]ー]イ[ノ しましょう ヨ]ー]キ]タ[ノ]ー よく来たな
 （ [はピッチの上昇）

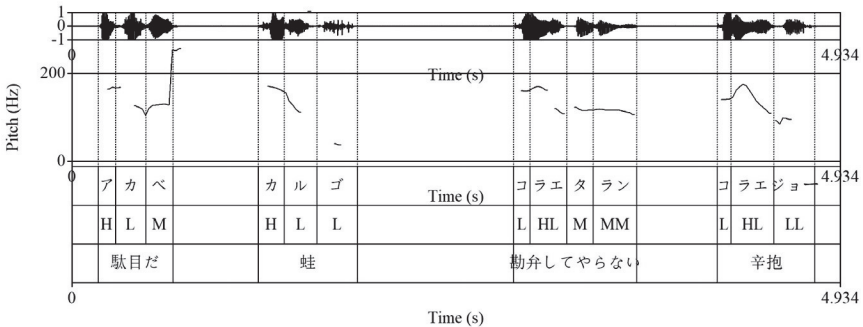


図 2 重起伏調（アカベ HLM とコラエタラン LHLMMM）

このような音調は浜野（2008）にも見られる（ $\overline{\text{アリヤヘン}}$ 「有りはしない」、 $\overline{\text{いりよう}}$ な「好き勝手な」など。上線は H）から、日生方言のアクセントを考えるうえで重要な現象と言える。これらの中にはイントネーションによる卓立もあるが、2 アクセント単位と見なすべきものも相当数あると思われる。ただし、上昇は基本的に弁別的な特徴でないうえ、2 文節の 2 単位形でも顕著な上昇は通常観察されないから、上昇を日生方言のアクセント上どのように位置づけるかは今後の課題である。

5.3 本稿のデータの信頼性

浜野（2008）と本稿のデータで同一と思われる語を比較する。

(4) 浜野（2008）		本稿のデータ
ああちゃん	お兄ちゃん。兄	ア]ーチャン
あいや	兄。若い男。若い衆	アイ]ヤ
あえる	（果実が）熟して落ちる。こぼれ落ちる	アエル ^ˉ
あか	赤ん坊。赤子	ア]カ
あかん	だめだ。いけない	アカン ^ˉ
あずる	もがく。てこずる。あくせくする	アズ]ル
あっちゃこっちゃ	あちこち。あっちこっち。あべこべ	アッチャ]コッチャ
あっぱがお	呆れ顔。呆然とした顔	アッパガ]オ
あば	（呼称）おばさん	ア]バ
あまける	甘える	アマケル ^ˉ
あらくたい	粗暴な。荒っぽい	アラクタ]イ
あらげる	間を開ける。差をつける	アラケ]ル
あんじょう	まったく。まるで〔悪い状況でいう〕	アンジョ]ー
あんばよう	ひどく。まったく。どうにも	アンバヨ]ー

(4) には「あ、ア」で始まる語のみ挙げたが、非常によく一致する。全体では若干くい違いがあるものの、本稿のデータを日生方言のアクセントと見なして問題ないとする。

6 資料

本節に今回の調査結果 1166 項目をアクセント資料として提示する。ただし、5.2 の重起伏調の問題もあり、音韻解釈は行わず、音声的な下がり目を] で示すとともに、一部の上がり目を [で示した（下がり目が事実上下げ核に相当する）。平板型は ^ˉ で明示した。日生町教育委員会（1986）とは独立した資料のため、話者の発話に従って方言形で五十音順に並べなおし、意味も簡略化した。複数の文節からなる場合、間にスペースを空けた。複数の発話で異なるアクセントで発音された項目についてはそれぞれのピッチを併記した。多義か同音異義語かにかかわらず、意味が大きく異なると判断した場合は ; で区切った。

(方言形	意味)	アメサ]イト	さめざめと
ア]ーチャン	兄さん	アヤス ^ー	(果物など) 落とす
ア]イ	はい	アラクタ]イ	粗暴な
アイア]イノ	はいそうです	アラケ]ル	間隔をあける
アイクチ]ガ エー	気が合う	ア]ラツカナ、アラ]ツカナ	荒っぽい
アイサ]ニ	時おり、たまに	ア]ンキ	気楽
アイタ ^ー	いやになった、疲労した	アンケラホ]ン	あっけらかん
アイマ]グイ	間食	ア]ンサン	妻の兄、年長の男子
アイ]ヤ	兄；幼児の足	アンジョ]ー	良いように
アエル ^ー	熟して落ちる	アンバヨ]ー	工合よく
ア]カ	赤子	イーグ]ンニョ	言いにくい
アガイニ]モ コガイニ]モ	どうにもこうにも	イカ]ナ コト]ニモ	どうしても
アガキ]ガ トレ]ヌ	始末がつかない	イカノ]ポリ	凧
ア]カ[ベ	駄目、不同意	イガム ^ー	蚕む
アガラ]ンセ]ー	上がりなさい	イガ]ル	叫ぶ、強く泣く
アカン ^ー	駄目だ	イカンセ]ー	行きなさい
アクタモ]リタ	罵詈雑言	イ]キイキ ド]ンボ	立ち往生
アサイ]ワイ	正月の餅	イキ]クサレ	行きやがれ
アサ]グチ	朝早いうち	イキナリ]ナ	だらしない
アサビル ^ー 、アサビル]ル	愛想を尽かす	イキル ^ー	騒ぐ、意気込む
アサマ]ジメ	夜明けの漁	イケイケニスル ^ー	同等比にする
アシア]ライ	田植え終わりの祝い	イケッ]チャー	行けと言うのに
アスコ]イ	あそこへ	イケル ^ー 、イケ]ル	埋める
アズラカサレ]ル	苦勞させられる	イコ]イノ	行きましょう
アズ]ル	もがく、あせる、困りきる、 苦勞する	イゴ]ク	動く
アツチャ]コツチャ	あべこべ	イシゴ]ーラ	小石が一杯の様
アツバガ]オ	呆れ顔	イシナ]ンゴ	おはじき
アツラエ]ル	頼む、注文する	イジラシ]ー	無残な、可愛いそうな
アヌイテ ^ー ツワ]ー	カケ]ル 自業自得だ	イジル ^ー	指の先で触れる
アネ]サ	兄嫁	イタ]イ	病気になる、病む
ア]バ	おば、おばさん	イタマ]ー	それはまあ
アマケル ^ー	甘える	イタワシ]ー	惜しい、心細い
ア]マジャ ナ]イ	容易でない	イチ]ニン	定期時間稼動したもの
アマッコ]ロ]イ	たやすい	イチンチハ]ダメ	一日おき
		イツケオ]ビ	子供を背負う帯

イッケシ]ンジャ	親族、一族、郎党	ウス]パ	菜切包丁
イッコ]ーチン	ビー玉遊び	ウソ]ウソ	落着きのない様、ちよろち
イッタランセ]ー	行ってやれ		よろ
イッ]タン	お嬢さん	ウチガ]キ	牡蠣の剥き身
イッチョーロ]ーソク	一人息子	ウッセ]ー	行け、失せる
イッ]チン	上等着；大事なもの、長男	ウツ]パイ	見かけ
イ]ツデモ カ]ツデモ	何時でも、四六時中、終始	ウツブク	俯く
イッ]トロバ	イノコヅチ	ウトータ	破産する、無一文になる、
イ]ツノ カ]ツノ	何時の		賭けに負ける
イ]ツノ コ]タ]ー ナ]イ	不断に	ウメ]ーケー	うまいか
イ]ツノ コ]ツノ	何時の	ウ]モ ナ]イ	まずい
イ]リョ]ー	出費	エ]ー ガ]イ	良い様に
イ]デル	煮る、茹でる	エ]ー ド	良いぞ
イ]トシ]ー	いじらしい	エ]ー ヨ]ーナ	ぜいたくな
イ]ト]コ	親しい友達；干瓢、人参、 小豆等を入れて煮る精進 料理	エ]ー ンコト スカ]ッショ]ル	あんなことを言っ ている
イ]トロ]ードイノ	行っているでしょう	エガオ]ヨシ	愛嬌がいいこと
イ]ナ]ス	逃がず、帰す	エグイ]ー	いがらっぽい
イ]ナ]ンカ	帰ろうや	エゲツ]ナ]イ	いやらしい、ひどい、むごい
イ]ヌ]ル	帰る	エ]コヒキ	不公平
イ]バル	腫れ物が大きくなる	エ]テル、エ]テ]ル	得意とする
イ]ヤ]ジリ	連作をきらう畑	エ]ボ	えさ
イ]ランワ]ーナ	要りません	エ]ラ]シコ	気が強く常識に欠ける人
イ]リ]コ	麦を炒って挽いた粉、はっ たい粉	オイ]デ コ]イ	泳いで来い
イ]リ]マイガ ナ]イ	役に立たない	オイ]デル	いらっしやる
イ]リ]ヨ]ー	出費	オイ]ト	甥
イ]リ]ヨ]ーモ ナ]イ	役に立たない	オ]ー	相生（地名）
イ]ル	地震が起きる	オ]ー[オ]ー	よろしい（喧嘩の際）
イ]ロワン	触らない	オ]ー]カメ	狼
ウ]グ]ウ	（癖などが）悪化する、化 膿する	オ]ー]ケー	大きい
ウ]ケ]ハン	保証印	オ]ーケ]ナ シャ]ッ]ポ、オ]ーケ]ナ シャ]ッ]ポ	馬鹿を見たこと
ウ]ズキ]ョーカ	花祭、灌仏会	オ]ー]ジョー シ]タ]カ	参ったか、降参したか
		オ]ー]ジョー]スル	困惑する、苦勞する
		オ]ー]タロ	背中におぶってやろう

オーノカイ	貝の一種	オトコマ]サリ	男勝り
オーボ]ネ	背骨	オト]ズキ	十二月
オーミ ハ]レテ	公然となって	オ]トドイ	兄弟、姉妹
オーメ ハ]レテ	公然となって	オナイ]ブツ	仏壇
オーヨ]ダチ	無駄になった；激しい雨	オナリマ]クリ	どなりまくること
オーロニ ナ]ル	ゆるくなる	オナル	大声を出す
オカ]ー	母	オネ]ー	姉
オカ]ミ	神職にあてた言葉	オバ]ー	祖母
オキ]エ イク	漁場へ行く	オビエル	恐れる、びっくりする
オ]クソコ	心の中	オヒ]カリ	灯明
オクリ]ゼン	参会しなかった人へ届け る膳	オヒ]サシ	太陽
オクレ]ー	ください	オ]ヒト	お手玉
オクレル	くださる	オメ]ー	お前
オケソ]ク	仏前に供える餅	オメル	はにかむ
オ]ザ	説教	オモッセ]ー	面白い
オジ]ー	祖父	オラエ]ル	速さを加減する
オジケル	恐れる	オリヤ]ル	居る
オジャ]ル	来る	オワエル	追いかける
オ]セスル	大将面をする	オン]ゴク	遠方
オダテル	(水などを) かきまわす	オンシ]	あなた
オ]タビ	神輿の神幸	オン]タ	雄
オタ]フク	鋤簾	オンダノハツ]モン	ありふれたものの中で手 に入り難いもの
オ]チャ[マ]ー	おやあ(女性語)	オン]バク	出し惜しみ
オチョク]ル	からかう	カーサン]エビ	爪の長いエビ
オッケ]ー	大きい	ガー]タロー	ゲンゴロウの幼虫
オッケ]ー	おおよそ	カ]ーミ	神職
オッチ]リ	落ち着いている様	カ]ーラ	船の底板
オッ]チン、オッチ]ン	幼児が坐ること	ガ]イ	たくさん
オツマゴリソ]バ	年越しそば	カイシヨ]ヨシ	才能のある人
オツモゴリソ]バ	年越しそば	カイツプ]ル	省略する
オド]イ	賢い	カイナ]イ	たりない
オト]ー	父	ガ]イニ	～のような、～のごとき
オト]ーリ	順礼等で断るときの言葉	カイワル	孵化する
オ]トガイ	あご	カエツ]テ	却って

カエ]ル	水を外に出す	カツ]グ	かぶる
ガエル ^ー	蛙	ガツ]ソー	ざんばら、髪先を長くして
カガム ^ー	隠れる		整えない髪型
カカリ]ゴ	嗣子	カツ]タル	加える、仲間に入れる
カキグ]シ	くし柿	ガツ]タロ	河童
カクシマ]ース	ひた隠す	カツ]チ	網の染料
ガ]ケ	絶壁	ガ]テラ	ついで
カケズ]リマワル	かけ廻る	カテ]ル、カ]テル	加える
カケバ]リ	網を編むときの針	カテ]ン	勝てない
カ]ゲラ	陰	カド]イル	門出する
カケラカ]ス	走らせる	カ]トク	財産、不動産
カケ]ル	走る	カナグル ^ー	ひっかく
カ]コ	船員	カバチ]オ タレ]ル	理屈を言う
カゴム ^ー	刑務所に入る	カバチ]オ ツ]ク	口答えをする
カ]サニ ノル ^ー	調子にのる	カブ]ク	傾く
カサバ]ル	嵩が高くなる	カフ]スベ	蚊を追うために生木を燃
カザム ^ー	匂いをかぐ		やすこと
カザル ^ー	匂いがする	カブ]リツク	かじりつく
カジ]ク	耕す	カブ]ル	かみつく
カジ]リツク	食いつく	カマサレ]ル	一杯くわされる
カシ]ン	菓子	カ]マス	刻みを入れる革製の袋
カシンキ]ピ	サトウキビ	カミ]ガ イッボンダチニ ^ー ナ]ル	恐ろしい目に
カ]ス	米等を水につける		会う
カ]タウマ	肩車	カ]ム	食う、食べる
カタ]グ	かつぐ	ガメ]ル	病み衰える
カ]タクワ	変わり者	ガメ]ル	くすねる
カ]タクワナ	変わった	カ]ヤク	汁の実
カ]タツラ	片方	カラケシ]ツボ	火消し壺
カタラ]ス	加える、仲間に入れる	カラスナ]エ	手足のけいれん痛
カチコム ^ー 、カ]チコム	叩き込む	カ]ルゴ	蛙
カ]チマス	殴る	ガ]ルゴ	蛙
カチューザ]ムライ	家中侍、陪臣	カワキノヤ]マイ	糖尿病
カチワル ^ー	打ち割る	カワリバ]ンテ	代わる代わる
カツエ]ル	飢える	ガン]ギ	石段
カツエ]ンド	飢えている人	カン]ゴ	背負いかご

ガン]コ	漁船の生け簀	キレ]ーナ	美しい
カンコ]ロガシ	薩摩芋を小さく切って干した菓子	キンニョ]ー	昨日
カン]シ	銚子	キンノ]ー	昨日
カ]ンス	茶釜	キンバ]ル	力む
ガン]ゾ	干し鰯	グ]イ	いばら
ガン]ツ	カニ	ク]エ[マ]ー	食べなさい
カンピ]ン	爛瓶	クギ]ル	焦げる
カンブル]ー	(舟等が) 揺れる	ククル]ー	網を修繕する
キー]ザラ	黄双、双目	クケル]ー	糸で縫い合わせる
ギー]ス	キリギリス	クサカリカ]ゴ	背負い竹かご
キグ]スリ、キグス]リ	生菓	グス]イ、グスイ]ー	ゆるい
キショク]ー	気分	クスベル]ー	煙を出して燃える
キズツナ]イ	気苦労する；恐縮だ	クチアラス]ー	反抗的なことを言う
キタナ]グチ、キタナグ]チ下品な言葉、罵り言葉		クツチョシ]ー	口惜しい
キチャナ]イ	汚い	クツワイ]ー	くすぐりたい
キ]ニ モチガ]ー ナ]ル	ありえないことの譬え	ク]ド	かまど
キミ]シリ	末っ子	グ]モ	蜘蛛
キヤー]コ	蚕	ク]モジ、クモ]ジ	菜の漬物
キャガワリ]ーナ	呆れた	クラ]エ	食べる
キャクソガ]ー ワル]イ	縁起の悪い、不快な	克蘭セ]ー	ください
キャツカ]モ ナ]イ	とんでもない	グル]リ	廻り
キョーサメナ]イ	呆れた	グレ]ル	崩れる
ギョ]ーサン	大変多く、沢山	グ]ロ	草むら
キョ]ーダイ	親友	クロ]ー ナ]ル	暗くなる
ギョ]ーール	来つつある	グ]ロニ ナ]ル	群がる
キヨ]シ	好人物	ケーシキバ]ル	見栄をはる
キョツテ]ー	恐ろしい	ケ]ーバ	見かけ
キョト]イ	恐ろしい	ゲコ]ー	下向き
キラ]ズ	卵の花	ケ]サイ	今朝
キ]リ	子供の遊び	ゲサ]ク	下品
キリキリ]マイ	てんてこまい	ゲサク]ナ	下品な
キ]リコ	イナゴ	ゲ]ソ	イカの足
キ]リゴ、キリ]ゴ	昆虫の一種	ゲ]タ	魚、舌鰻
キリョ]ーヨシ	美人	ゲダイガ]ー ナガ]イ	前口上が長すぎる
		ケタクソ]ガ ワル]イ	縁起が悪い、気分が悪い

ケチ]ル	出し惜しむ	コーバイ]ガ ハヤ]イ	仕事早い
ケ]ツ	最後	コーバ]リツク	乾いて付着する
ケ]ツオ フク ^ー	尻ぬぐいする	コーバ]ル	粘りつく
ケ]ツオ ワル ^ー	途中で投げ出す	コーリバ]シラ	霜柱
ケッカノ]ー	却って	ゴー]ワカス	腹を立てる
ケ]ツ カヤ]レ	帰れ(罵って)	コカ]ス	倒す
ケッタクソノワル]イ	忌々しい	コガ]リツク	焦げ付く
ケツネ]ズシ	いなり寿司	コ]キノ エ]ー	虫のいい
ケツネ]バシ	彼岸花、曼殊沙華	コグ]チカラ	端から
ケ]ツノコ、ケツノ]コ	尻	コケ]ル	転ぶ
ケツ]ル	侮る、貶す、文句をつける	コゴケ]ル ^ー	がじかむ
ケドラレ]ル	見つかる、気付かれる	コサゲ]ル	掻き浚える
ケナイガ]ス	見せびらかす	コシカ]ラゲ	着物を腰紐で端折る
ケナイガ]ル	羨ましがる	コジケ]ル ^ー	凍える
ケナリ]ー	羨ましい	コシヤク]ナ	生意気な
ケナリガ]ス	見せびらかす	ゴジヤバ]コ	むちゃくちゃな
ゲビ]ル	下品じみる	コジョッコ]リ	ささやかな暮らし
ケムタ]イ	気難しい; 煙たい	コジ]ル	梃子などを隙間に入れる
ゲンドマ]イリ	生まれて初めて参拝する、 氏子になる宮参り	ゴシ]ンサン	奥様
ゲンナ]オシ	漁夫を元気づける祝酒	コス]イ	ずるい、狡猾な
ゲン]ナリ スル ^ー	うんざりする	コズ]ク	こずく
ゴエ]ンジュ	御院主、住職	コズム ^ー	薪等を積む
ゴー]ガ ワク ^ー	腹が立つ	コズラニク]イ	少し憎い、憎らしい
コー]コ	大根の漬けたもの	コゼ]ル	くじく
コー]シ	棺	コソドシ]イ	騒々しい、仰々しい
コー]シヤク	理屈	ゴダ]ー	愚痴
ゴージョ]ーナ	勝手な	コタエラレ]ン	たまらない
コー]ツト	ええと(考えるとき)	ゴチョ]ーウチ	五目ならべ
コーデガ ^ー サガ]ル	手首が痛くなる	コッキ]リ	すっかり
コーテコ]イ	買ってこい	ゴッツ]イ	程度が甚だしい
コート]ツナ	温厚な	コッツ]リ	鉢合せ
ゴ]ー ニヤス ^ー	腹を立てる	ゴッ]テキナ	非常に大きい
コーバイ]]	具合い	コットリ]ウシ	牝牛
コーバイ]ガ キツイ ^ー	気が短い、気が強い	コ]ツモゴリ	大晦日の前日
		コズラニク]イ	憎らしい

コナス ^ー	収穫する、脱穀する	サシイ]タ	波よけ用に立てる舟板
コビ]ー	こすい	サシゲ]タ	羽のついた下駄
コ]ピキ	樵	サシマ]ゴシ	薪を背負うとき荷くずれ
コビッ]チャ	幼い者、子供		しないよう中心に差しこ
コ]ブ	昆布		む棒
コ]ブ	瘤	ダツ]ナ	雑な
コブ]イ	欲な、こすい	ダツ]イナ	雑な
コブラガ]エリ	転筋	サツパ]リスル	清算する
コブリ]ガ ワル]イ	見かけが悪い	サデコム ^ー	集めて入れる
コブレ]ル	作物の発育が遅れる、小さくなる	サデル ^ー	コクバをかき集める
		サトーキ]ビ	サトウキビ
ゴへ]ーダ	石炭	サ]ナ	七輪につける網形の棚
コマ]シナ	やや良い	サ]ハイ	指図
コヨス]イ	生意気な	サバケ]ル	売れる
コラ]エジョー	辛抱	サバ]ル	すがりつく
コラ]エタ[ラン	勘弁してやらない	サビル ^ー	荒廢する
コラ]エタル	勘弁してやる	サビレル ^ー	荒廢する
コラ]エテ ク[レ	勘弁してください	サブ]イ	寒い
コラエ]ル	堪える、勘弁する	サメサ]メト	さめざめと
コラッ]ショモ ナ]イ	だらし無い	サラレ]ル	嫌われる
コ]リヤー	こら	サル]コ	たんぜん
ゴ]リョン、ゴリョ]ン	寺社の奥様、寺の娘	サワラゴ]チ	四、五月頃の東風
コ]レ[コレ	人に呼びかける言葉	サンジマス ^ー	参上します
コワ]ル	水分の蒸発で固くなる	サ]ンジラカス	散らかす
コンコ]ン	親しい様	サンス]ナ	なさるな
ゴンセ]ー	来なさい	サンセ]ー	しなさい
コ]ンドル	混雑している	サン]マ	火葬場
コンマ]イ	小さい	ジャ]ーカラ	それだから
サー]リヤ、サーリヤ]ー	さあ、はてな	シアンナグ]クビ	大変迷っている様子
サイキョ]ー	おせっかい	ジ]ーババ	蘭の一種、春蘭、山蘭
サイダカス ^ー	差し出す	シオ]ガ カラ]イ	いたずらな
サイタバル ^ー	出しやばる	ジガ]タ	付近の海
サゲ]ル	持つ	シカン]マキ	首に巻く色絹
ササラホ]サラ	減茶苦茶	シ]クサル	する
サシアウ ^ー	二人で物を運ぶ、かつぐ	シ]クサレ	勝手にしろ

シケ]ル	長雨が降る	シャリ]キ	大八車
シ]コシコ	食物の舌ざわり	シャントコベ]ー	しっかり者
シタッター	してやった	ショ]イデ	仕事；ぬれぎぬ
シタッター	なくなった、落とした、捨てた	ショ]イニ	だから
シタメ]ル	鍋などの水を減らす	ショー]イ[ノ	しましよう
シタ]ラ[ー	してみたなら	ショーガナ]イ	仕方がない
ジダラク	横着、ふしだら	ジョーケン]イシ	蠟石、洋慶石
シッポ]リ	しんみり	ショーコトナ]イ	仕方ない
シーテショ]ーガツ	旧正月	ショ]ージ	小路、横丁
シト]モ ナ]イ	したくない	ショーッ]タラ	していたら
シト]ル	湿る；している	ジョ]ーニ	たくさん
シノ]グ	避ける	ショーブ]ドリ	シャモ
シビル	漏らす	ショー]モ ナ]イ	つまらない、仕方ない
シビル	腫れが小さくなる	ジョ]ーリ	草履
シプト]イ	図々しい	ショ]ショネ	仮寝、うたた寝
シオタ]レテイル	古くて汚くなっている	ジョッパリ]ナ	強情な
シマ]ツ	整頓、片付け	シラン	わからない
シモーター	失敗した	シリクソパイ]ー	くすぐったい
シモタ]カ[エ	こんばんは（挨拶）	シリコ]イビ	小指
シャ]ー[ショ]イ	それだから	シリコ]ンジョー	ど根性
ジャ]ー ネ]ーケド	そうではないけれど	シリ]シリ アズラカラレ]ル	大変てこずる
シャキ]シャキ	しゃんとして、てきばき	シリ]シリ コマ]ル	大変困る
ジャギモ]チ	粒のある餅	ジルイ	柔らかい、しめつばい
シャ]ク	蝦蛄	シワ]イ	固い、曲がる、たわむ
シャクセ]ン	借金	ジ]ワ[ジ]ワ	だんだん
シャッカ]イモ ナ]イ	途方もない	ジ]ワ]リ	ゆるやかに
シャツ]チ	是非	ジン]ワ]リ	ゆるやかに
シャツ]ボ	帽子	シワ]ル	曲がる、たるむ、たわむ
ジャマクサ]イ	面倒くさい	シ]ンガ[サンニチ	旧4月7日、潮干狩の日
ジャ]ラ	冗談	シ]ンカラ、シ]ンカラ	根っから
ジャラケ]ル	じゃれる	シ]ンキクサ]イ	じれったい
ジャラ]コ	うそのかけごと	シ]ンキナ	新規の、新しい
ジャラ]ジャラシタ	ばからしい、くだらない、だらだらした	シ]ンジョー	差し上げよう
		シ]ンショモ]チ	財産持ち、物持ち
		シ]ンデ]ー	疲れる、くたびれる

シンドオ]ロシ	進水式	セ]ー	栄養
シンド]イ	疲れる、くたびれる	セ]ーオ オト]ス	落胆する
ジ]ンペー、ジンペ]ー	甚平、単衣、はんでん	セーサ]イ	最大限
スイ]ー	酸っぱい	セーサンセ]ー	そうしなさい
スイ]ーホド	あからさまに	セ]ーナンケー	そんなんですか
スエ]ル	食物が腐る	セー]ビ	蟬
ズエ]ル	崩れる	セカ]ス	からかう
スカス ^ー	子供をあやす	セガム ^ー	ねだる
ズ]クシ	熟柿	セカラシ]ー	せわしない、忙しい
ズクシ]ンコ	熟柿	セカロシ]ー	せわしない、忙しい
スケル ^ー	載せる	セキ]タン	石油
ス]コ	漁獲の無いこと	セ]ク	急ぐ
スゴ]スゴスル	肌寒く感じる	セセク]ル	いじる、もてあそぶ
スズム ^ー	沈む	セセ]ル	いじる
スズリ]プタ	くちとり (料理名)	セタロ]ウ	せおう
スダル ^ー	ずれ落ちる	セ]チメン	船の栓
スチョ]イナ	捨てような	セツ]キ	年の暮
スツ]コム	ひっこむ	セッキバ]ライ	大晦日に年内の貸借を済ませること
スッポンカ]ブリ	頭からすつかり被ること	セツ]ショーナ	かわいそうな
ステランセ]ー	捨てなさい	セド]ル	親船から小船へ積荷を移す
スド]イ	狡猾な、不親切な	ぜ]ニ	お金
ズニノル ^ー	調子にのる	セバ]イ	狭い
スネ]ル	ふくれる	セビラカ]ス	からかう
スバヌケ]ル	抜ける	セブラカ]ス	ねだる、いじめる
スバル ^ー 、スバ]ル	愚痴をこぼす	セメンガ]シ	子供用虫下し
スバロシ]ー	不景気な	セライ]ゴ	子供がなく養子をもらった後生まれた実子
スベ]コ	石、バラス	セラウ ^ー	嫉妬する
ズベ]コ	石、バラス	セワシナ]イ	うるさい
スポ]タ	ずぶぬれ	セワヤク ^ー 、セ]ワ ヤク ^ー	心配する
ス]マ	隅	センカ]ー	~しよう
スメ]ン	酒を飲んでないとき	ゼン]ザイ	しるこ
ズ]ル	ずり落ちる	セン]チ	便所
スワビル ^ー	しぼむ、水分が抜ける		
スワブル ^ー	しゃぶる		
スン]メ	スモモ		

センチ]ムシ	ウジ	タケガ]エシ	竹片を使った遊びの一種
セン]ペー	煎餅	タシナ]イ	貴重な、とぼしい
ソーカ]ー	しようか	タジョーモ]チ	誕生日の祝餅
ソーカ]ー[ナ]ー	しようかなあ	タテ]ル	(戸や障子を) 閉める
ソー]カテ	それでも	タデル	腐敗から守るため蓼草で
ソードーシ]ー	騒がしい		船底を焼く
ゾ]ーヨ	費用、雑用	タド]ル	手繰る
ソー]レン	葬式	タ]ノキ	狸
ソク]ウ	束ねる	ダマクラ]エ	ざまをみる
ソグル	藁の外皮を除く	タマ]グロ	黒砂糖
ソゲル	外れる	ダマシ]ニ	不意に、突然
ソシ]ル	陰口を言う	ダメ]ナシ	だらしない
ソズル	荒く削る	ダルツ]ボ	汚水溜
ソテ]ル	逸れる、外れる	タレ]ル	言う
ソバエ]ル	時雨、小雨が降る	ダンゴ]バチ	熊蜂
ソビ]キダス	引っ張り出す	タンコ]ブ	たん瘤
ソリヤソ]ート	そう言うけれど	ダンセ]ー	下さい
ソリヤソリヤマ]ー	それはそれは、そうはそう と	ダ]ン ナ]イ ダンナ]シ	大事な、差し支えない 直接仕事をせざぶらぶら する金持ち
ソ]リヤ[ミ]ー	それ見る		階段
ソレ]グ[レ]ー	それぐらい	ダンバ]シゴ	船底の広い安定した荷物
ゾンガミガタ]ツ	身の毛がよだつ	ダン]ベ	船
ダイ]ゲン	代理人、代弁者		少し
ダイ]コン	大根	チート]バ	少し
ダイジ]ゴ	イタドリ	チート]バー	隣近所
タイショ]ー コ]ク	親分風をふかす、漁夫の利 を占める	チカマ]ワリ チ]グハグ	不揃い
タイテク]ータル	散財させてやる	チチ]ル	魚が餌に食いつく
タ]イマ	あいこ	チッコ]イ	小さい
タイワンキ]ピ	サトウキビ	チバケ]ナ	冗談を言うな
ダカエル	抱える	チ]マメ	乳首
タカゲ]タ	足駄	チミ]ドロ	血だらけ
タカル	集まる	チャク]ル	くすねる
タクノ]ル	着物など大しわになる	チャック]ル	くすねる
ダ]ケ	急傾斜の岩山、崖	チャコ]ベ	ごじゃごじゃ

チャ]ン	防腐染料の一種、コールタール	ツ]モゴイ	晦日
		ツヤス ^ー	腫れ物の膿を出す、潰す
チョ]イ[チョ]イ	時々	ツラ]アテ	報復
チョーケ]ラカス	おだてる、からかう、欺く	ツラクル ^ー	吊るす
チョー]ズ	大小便	ツル]ム	交尾する
チョーダ]ライ	洗面用の小桶	ツ]ンノメス	突き倒す
チョ]コザイナ、チョ]コ]ザイナ	小賢しい	デーラ]イ	とても、大変
チョ]コ]マン	子供、少し	テガ]ウ	手伝う
チョック]ラ	ちょっと	テ]コ	あまりにも；手
チョックラチョ]イニ	そう簡単な	テ]ス	〜で勝負
チョック]シ	少し	テ]チメグ	ぶち壊す
チョニデ]ル	ふざける	デッ]コ	つき当って倒れること
チョビッ]ト	少し	テッパル ^ー 、テッパ]ル	対立する
チョ]ボ	小さい点	テッポー]エビ	片方のツメの大きいエビ
チョラカ]ス	おだてる、からかう、欺く	テッポン]タン	飴玉
チラカス ^ー	だらしない、整頓しない、散乱させる	テ]ドラス	殴る、暴力をふるう
		テ]ニ アワ]ン	手におえない
チワグ]ルイ	男女が戯れること	テ]ニャ[ワ]ン	手におえない
チンチコ]ンコン、チ]ンチコンコン	特別に親しい	テ]ニャワンモン	いたずら者、意地悪者
チンマ]イ	小さい	テノ]バシ	子供の遊びの一種
ツー]ツク	通じ合っている状態	テブ]ロシキ	風呂敷
ツエル ^ー	つぶされる	デボ]チン	ひたい
ツカエル	一杯になる	テ]ミ	竹で作った両手で土を運ぶ入れ物
ツグネ]ル	薪等を積む		
ツグネ]ル	束ねる	テメ]ガ エ]ー	都合が良い、見かけが良い
ツクバ]ム	うずくまる	テレ]コ	相反すること、ちぐはぐ
ツクロ]ウ	修繕する	テレ]ル	赤面する
ツチゴ]エ	堆肥	デン]オ ツク ^ー	しきりに従う
ツツイ]ツパイ	ぎりぎりいっぱい	テングラヤ]ス	そんなに簡単に
ツド]ウ	つかい棒をする；重複する	デン]ギ	すりこぎ
		テングロヤス]イ	たやすい
ツベ]コベ ユー]ナ	あれこれ言うな	デン]ジョン ナ]ラー	何をしているか
ツメク]ル	つねる	テング]ー	山頂
ツ]メテ	何時も	テンドEMONデ]ニ	それぞれに
ツメ]ル	閉める、とざす	トーザイ]ゴ	一才児

ドエライ	大きい	トメ]コ	ニワトリを飼う箱
ト]一オ	十、十個	トメド]コロ	禁漁区
ドーギツ]タ	思い切った	ト]モヨ一	友達よ
ドーグチ]タレ	猥談をよくする人	ドヤ]ス	打つ、殴る
ト一ジンイ]カリ	泳げない人	トラ]エマール	捕らえ回る
ト一ジンキ]ピ	トウモロコシ	トラマエ]ル	捕らえる
ト一]ピ	鳶	ド]リヤ	どれ
ド]カ	どれか	トリヤゲル ^一	始末する
トカ]一チ	トカゲ	トロケル ^一	とける
ドガイニ]モ コガイニ]モ	どうにもこうにも	ドロ]ドロスル	ゆっくりする
ドガイニ]モ ナラ]ン	どうにもならない	ト一]ガキ	無花果
ドガイ]モ ナ]イ	どうもない、何ともない	トン]ガキ	無花果
ド]カグイ	一気に食べること	トンガ]ラシ	唐辛子
ド]カヒク	でこぼこ	トンギラザ]ス	尖らせる
ドギモ]オ ヌク ^一	思い切ったことをする、肝 をつぶす	トンギ]ル	尖る
トギラカ]ス	尖らせる	ドングリガエ]ル	逆様になる、ひっくり返る
ドケル ^一	避ける	ドングリマ]ナコ	大きな目
ド]シコム	押し込む	ドンチャンピ]ヨリ	陰晴不定の天気
ドシャゲル ^一	つき当る、ぶつかる	ド]ンド	とんど、たき火
ドズ]ク	打つ、殴る	ド]ンバラ	腹
ト]チ	地所	ドン]ベ	最後
トッカエ]モ ナ]イ	とんでもない	ナ]一エ[ナ]一エ	ないない
トッタカミ]タカ	思い切って決断する様	ナカ]エ	仲居
トツツケ]モ ナ]イ	とんでもない	ナキピ]ソ	泣き虫
ドツ]トセン	感心しない	ナゲヤリ]ナ	突き離れた
ド]ドノツ[マリ	結局	ナ]ケラニヤ一	なければぬ
トト]ロ	魚の名、アブラメ	ナサケナ]イ	つらい、むごい
トナリマ]ワリ	隣近所	ナツ]ムシ	コガネムシ
ド]ブ	濁り酒	ナデル]	さする
ドブサ]ル	臥せる、寝る	ナニシ]ニ	どうして
ドブチ]ンコ	カワハゼ	ナバエ]ル	斜めにする
ドベ]タ	地面	ナ]マハンジャク	中途半端
トボケル ^一	耄碌する	ナメ]ソ	青大将(蛇)
トボシナ]イ	心細い	ナメ]タ	鯨の一種
		ナリクソ]ガ ワル]イ	格好が悪い

ナル]イ、ナルイ ^ー	緩い、平らな	ネ]トボケル	寝ぼける
ナン]キン	カボチャ	ネブタ]イ	眠い
ナンキン]マメ	落花生	ネブ]ト	竹の地下茎
ナ]ンタチ	何という	ネブル	なめる
ナンタラコト]ー ユー]ンナラ	何ということと言 うか	ネ]マ	寝床
ナンジャ]ーナ	何を言うか	ネン]ダクル	文句をつける
ナンデクソナ]ゲニ	たやすい様に	ノサバ]ル、ノサバル ^ー	増長する
ナンナ]ラ[ー	何だ	ノゾケル ^ー	贈り物などを届ける
ナンバキ]ビ	トウモロコシ	ノ]ノコ	綿入
ニエク]リカエル、ニエク]リカエ]ル	腹が立つ	ノ]ノサマ	仏様
ニエル ^ー	腹が立つ	ノプト]イ	粗雑な；強情な
ニオウ ^ー	うめく	ノベ]ル	薄める
ニガ]ル	痛む	ノボリ]グモ	西へ行く雲
ニジク]ル	なすり付ける、踏みつける	ハイ]ラズ	食器棚
ニジケル ^ー	寒がる	ハガイ]ー	はがゆい
ニダエル ^ー 、ニダエ]ル	蒸し暑い	ハカ]ガ イク ^ー	順調にいく、はかどる
ニチ]ル	潮が満ちる	ハカ]ス	はかどる
ニナイ]タゴ	荷ない桶	ハガネ]ツチ	漏水止めに練り込む泥
ニナ]ウ	天秤棒で運ぶ	ハグチ]ウチ	カワハギ
ニヤス ^ー	殴打する、殴る	バクチ]ウチ	カワハギ
ニ]ヨイサマ	仏様	バク]ロ	牛馬仲買人
ニヨウ ^ー	うづく	ハ]ジシ	歯茎
ヌカス ^ー	言う（卑語）	ハシタ]ジャ ナ]イ	少なくない、半端でない
ヌカス]ナ	言うな	ハシ]ャグ ^ー	桶などが乾いて水が漏る
ヌカシヨ]ル	言っている	ハシ]ル	ひりひり痛む
ヌカッタ ^ー 、ヌカッ]タ	気が付かなかった	ハズム ^ー	盛大である；ご馳走する
ヌキサシナラ]ヌ	身動きが取れない	ハタカラ	傍から、一方から
ヌク]イ	暖かい	ハタ]ク	資産を失う
ヌケマ]イリ	家族に内緒で伊勢参りす ること	ハタケル ^ー	胸や股を開く
ネ]カラ ハ]カラ	根ほり葉ほり	ハダケル ^ー	広げる、開く
ネゴ]ザ	敷蒲団の上に敷くゴザ	バッカ]シ	～ばかり
ネズミ]トリ	青大将（へび）	ハッ]シャグ ^ー	乾く
ネセクリワル]イ	嫉妬深い、いじわるな	ハッ]チョ	おてんば
		ハツ]ル	枝をはらう
		ハテ]ル	終わる

ハ]ナカラ	最初から、始めから	ヒッキョク]ナ	けちな
ハナツキ]メシ	祝言のときの山盛飯	ヒツコ]イ	執拗な
ハナマ]ツ	神仏に供える松	ヒツ]コム	凹む
ハナム]ケ	結婚祝い	ヒッシャグ ^ー	圧して壊す
ハバシ]ー	すばしこい	ヒツ]タクル	もぎ取る
ハブテル ^ー	すねる	ヒッチョク]ナ	どん欲な
バ]ベ	ウバメガシ	ヒトヨ]ーテ	一晩
ハマル ^ー	落ち込む	ヒ]ナオル	雨の降りそうな天気を持
ハヤ]イ[ノ]ー	おはよう(挨拶)		ち直す
ハヤマ]ク	早いこと	ヒナ]タ	目下の者を呼ぶ場合
ハ]ヨー コ]イ	早く来い	ヒ]ネニ ナ]ル	無駄になる
ハラ]ゴ	鹿の胎児	ヒネ]ル	古くなる
バラ]ナ	バナナ	ヒノ]タマ	人魂
バ]ラニ スル ^ー	元に戻る	ヒ]ノ ヨ]ーナ	赤い
ハリア]ウ	抗弁する、対応する	ヒ]ボシニ ナ]ル	空腹だ、食物がない
ハリコム ^ー	おごる	ヒモト]ーシ	女兒に初めて帯を締めさ
ハ]リノミ[ゾ	針穴		せる祝い
ハ]リマワス	打つ	ヒョーゲル ^ー	おどける
バレ]ル	あばれる、騒ぐ	ヒョ]コナゲナ	格好が変な
ハン]チャ	はんでん、中途半端	ヒョロズク ^ー 、ヒョロズ]ク	よろめく
ハン]ボ	浅い桶	ヒョワ]イ	柔弱な
ヒ]アガル	賭けに負ける	ヒョ]ンナゲ	怪しげ、変
ヒーツ]サ	久しく、永い間	ヒ]リョーズ、ヒリョ]ーズ	がんもどき
ヒーテシヨ]ーガツ	旧正月、二月一日	ヒログ ^ー	する
ヒカエド]ーヤ	祭の当家が差し支えたと きに代わって務める家	ヒロ]ヒロト	物欲しそうに、うろうると
		ヒンジヤ]ンス	進上する
ヒ]ガナイチンチ	終日	ヒンズノ]カワ	度々、ひっきりなしに
ヒキマ]ワシ	マント	フ]ー	運
ヒコズル ^ー	引きずる	フ]ーガ ワル]イ	きまりが悪い
ヒ]コワル、ヒコワル ^ー	乾いて強張る	フ]キパナ	リンドウ
ヒシャグ ^ー	圧して壊す	フ]ク	河豚
ビ]シヨニ ナ]ル	水に濡れた様	フ]ク	落ち着きがない様
ヒ]ズマリ	干潮	フジ]クラ	麻裏草履
ヒダル]イ	空腹な	フスポ]ル、フスポル ^ー	すすける、くすぶる
ヒチ]リン	コンロ	フセリ]アルク	遊び回る、ひどく愈ける

フセ]リヤルク	遊び回る、ひどく怠ける		くこと
フセ]ル、フセル ^ー	寝る、怠ける	ヘンゲ]ル	変わる、約束を破る
フツ]テ ワイタ ^ー	だしぬけに、突然	ベン]コ	子牛
フテ]ル	拗ねる	ヘン]コツ	へんくつ
フナオ]ロシ	進水式	ヘンジョ ^ー	差し上げよう
フナジョ]タイ	夫婦の舟での生活	ヘンジョ]ー コンゴ]ー	くどくど言うこと、色々文
フナ]タデ	船底を焼くこと		句を言うこと
フミ]タクル	踏みにじる	ヘンチク]リン	変わり者
フラ]イキ	大漁船の旗	ホイ]テ	そして
フラ]ホ	漁船の旗	ホエル ^ー	泣く
フン]ズマル	行きづまる	ホーグ]カゴ	紙くず籠
ヘーカラヤ]ー	それからなあ	ホーク]ル、ホークル ^ー	ほうける
ヘ]エ[ヘ]エ	はいはい (女性語)	ホー]タル	蛍
ヘギ]モチ	欠き餅、おかき	ホーチ]ンサン	けち
ヘグ ^ー	はがす	ホー]ド	程
ヘグレ ^ル ^ー	めくれる	ボー]ニ	盆
ヘゲ ^ル ^ー 、ヘゲ]ル	はげる	ホー]ロク	土鍋
ヘサエル ^ー	押さえる	ホー]ンコー	報恩講
ヘ]シマゲル	折り曲げる	ホカス ^ー	すてる
ヘシャゲ ^ル ^ー	つぶれる	ホグラカス ^ー	(話を)はぐらかす
ヘズ ^ル ^ー	分けとる、頭をはねる	ホケ]ル	のぼせる、夢中になる
ヘタバル ^ー	倒れる、腰を落として座り	ホ]コバナ	リンドウ
	こむ	ホザ]クナ	言うな
ヘタル ^ー	倒れる、腰を落として座り	ホソラナガ]イ	細長い
	こむ	ホタイ]グチ	額
ヘチ]コチ	反対	ホタエル ^ー 、ホタエ]ル	戯れ騒ぐ
ヘッコム ^ー	へこむ、凹となる	ホタカ]バチ	頬
ヘツ]タラ	それから	ホタク]リダス	放り出す
ヘツチ]コッチ	反対	ホタク]リヤルク	ちばらかす、ほったらかす
ヘツチャゲ ^ル ^ー	押し潰れる、潰れる	ホタクル ^ー	放る、投げる、放置する
ベツチャラコ]イ	平らな、扁平な	ホタラカス ^ー	ほったらかす
ヘドロコ]イ	まどろこしい	ホッコ]リ	あたたかい
ヘ]ノカツ[バ	平気	ホッタラグラ]イ	薄暗い
ヘバル ^ー	力む	ホ]テ[ナ	そうしてからね
ヘヤミ]マイ	婚礼後嫁の様子を見に行	ホテ]ル	雷光する；死ぬ

ホデ]ル、ホデル ^ー	稲光がする	マブ]レツク	まといつく、からまる
ホド]ク	解く	マ]マ	御飯
ホトビル ^ー	衰える、焼けただれる	ママ]カレ	ままかり
ホビ]ンチャク	頬	ママン]コ	ままごと
ホメク ^ー	蒸れる	マメ]サ	達者
ホヤス ^ー	泣かす	マンマ]ンサン	月 (幼児語)
ホ]リヤ[ミ]ー	それみろ	ミサンセ]ー	見なさい
ボロクソ]ニ	くそみそに	ミズクサ]イ	水っぽい
ホンソ]ゴ	愛児	ミズス]マシ	アメンボ
ホンブ]シ	うたの本来の節;木の板の 大きな節	ミノ]マメ	大豆
ホ]ン[ホ]ン	たいへん、ほんとうに	ミツ]ヒト]ブン	三分の一
ボンボ]ン	坊や	ミテ]ル	なくなる、失う、終わる
ホンマケ]ー	本当ですか	ミニク]イ	見苦しい
タベンセ]ー[マ]ー	食べなさい	ミノケガヨダ]ツ	恐ろしくて震える
マ]ー]ス	榭	ミミカ]ス	耳垢
マ]ー[ノ]ー	生返事	ミミ]ド	針の穴
マ]ーマ]ー	折り合いよく、なだめる	ミョーケン]ボシ	北極星
マ]ー]ル	まり	ムカ]ー]デ	ムカデ
マイマイ]カゼ	旋風、つむじ風	ムカイジョ]ー]ロ	花嫁を迎えに行く者
マギラ]ス	ごまかす	ムケソ]ク	仏前に供える餅
マク]イツク	からまる、巻きつく	ムサクロシ]ー	場所が狭い
マクバ]ル	公平に分ける	ムシル ^ー	摘みとる
マ]ケタ	こぼれた	ムスメヤ]ド	娘の集会所
マケ]ル	こぼれる	ムツカシ]ー	難しい
マギ]ル	蛇行する	ムツ]キ	おしめ
マ]ジ	南風	ムック]リ	腹を立てて、怒って
マ]セ	早熟	ムナクソガ ^ー ワル]イ	不満な、不愉快な
マタガ]ル	またぐ	メ]ー]マ]カス	目を回す、気絶する
マツ]サラ	一番新しい	メ]オ ミツケ]ル	失神する
マデ]ル	混ぜる	メカ]タ	体重
マド]ウ	弁償する	メグ ^ー	壊す
マドロコシ]ー	悠長な、じれったい	メゲル ^ー	壊れる
マバイ]ー	まぶしい	メダカ]ス、メダカス ^ー	見せびらかす
マヒ]ゲ	眉	メタル ^ー	湿気で量が少なくなる
		メツソ]ー]ナ	どういたしまして

メツポ一	特定の目標者	ヤツバ]シ	やはり
メ]ノ クロ]イ ダ]チワ	目の黒いうちは	ヤツレ]ル	衰弱する
メノ]コ	暗算	ヤメナハ]レ	やめてください
メンメ]コ	各々	ヤメンカ]一ノ	止めましょう
モーチョツ]トデ	もう少しして	ヤヤクロシ]一	複雑な
モガ]ク	四苦八苦する	ヤリコ]イ	柔らかい
モク]イツケル	巻きつける	ヤ]レソレ	せき立ててもすぐに
モゲ]ル	裂ける	ヤワ]シ ナ]ル	軟くなる、穏やかになる
モサツ]ト	ぼんやり	ユーガ]イニ	言う通りに
モ]チモチ	鳥もち	ユー]ナ	暇な
モチャゲル一	持ち上げる	ユー]レン	幽霊
モツトノコト]デ	もう少しのところ	ユ]ク	尖った棒を地面上につき
モテ]ン	保てない、辛抱できない	ユズル一	立て倒しあう遊び
モド]ク	よりをもどす	ユモ]ジ	水中で穀物を選別する
モトラ]ヌ	役に立たない	ユ]ンベ、ユ]ンベ	手拭い
モト]ル	役に立つ	ヨ一マ]一	漁具で杭のここと；昨夜
モド]レ	帰れ	ヨ一イカマ]一ガヤ一	余計なこと、おせっかい、
モ]バ	藻	ヨ一]ガイオ スル一	差し出口、冗談
モマス一	粉議を起こさせる	ヨ一]キタ[ノ]一	行けないだろう
モモタ]ブラ	股	ヨ一]ケ	予防する
モヤ]ラ	共同、一緒	ヨ一]サンセ]一	よく来たな
モロタ一	もらった	ヨ一]一[シヨ]イノ	たくさん
モン]ガ ア]ウ	つじつまがあう	ヨ一]スル一	良くしなさい
ヤイトノア]ト	半月型に切ったあられ	ヨ一]ナライ	良くしましよう
ヤウ]ツリ	引越し	ヨ一]ナラノ	ポーズをとる
ヤオ]ツリ	引越し	ヨ一]ナロ]一ガノ	良くなるよ
ヤオツリイ]ワイ	新築祝い	ヨ一]ルコト	良くなるよ
ヤキ]ヤキスル	苛立つ	ヨ]ガナ ヨ]ジュ一	良くなるでしょう
ヤクタイ]モ ナ]イ	むちゃな、とんでもない、 途方もない、ものすごい	ヨ]ガ ワル]イ	言っていること
ヤ]ケ	自暴自棄；火傷	ヨクドシ]一	一晩中
ヤセギ]ス	痩せている者	ヨシレン一	不景気な
ヤッサデ一	急いで	ヨダチ]クモ	欲深い
ヤツ]チガ ナ]イ	つまらない、わからない	ヨダ]ツ	言うことを聞かない
ヤツ]チモ ナ]イ	仕様のない		入道雲
			手間がかかる、骨を折る

ヨッ]シヨガ ナ]イ	物を乱雑にする	ワク ^ー	魚などが繁殖する
ヨバス ^ー	麦を煮る	ワ]ケテ クレ]ー	売ってくれ
ヨバレル ^ー	ごちそうになる	ワ]ケモ ナ]イ	たいしたことではない
ヨ]ミヤ	祭の前夜	ワップスル ^ー	分配する、分け与える
ヨ]メトル	よくわかる	ワメク ^ー	大声で言う
ヨル ^ー	集まる、選ぶ	ワ]ヤ	乱雑、駄目
ヨワラ]ーノ	弱ります	ワラグ]ロ	ワラを保管するため野に
ラ]チガ アクカ]ー	物がはかどらないぞ		丸く積み重ねておくこと
ラッシュヨガナ]イ	汚い、だらしない	ワ]リヤ ^ー	貴様は
リキューゲ]タ	日和下駄	ワル]ー スル]ト	事によったら
リ]ン	まくら木	ワルガ]ル	恥ずかしがる
ロ]レ	呂律	ワ]レ	お前、君
ワ]キヤ ^ー ナ]イ	問題ない		

付記

本研究は JSPS 科研費 19K20801、21K12993 の助成を受けたものである。

参考文献

- 上野善道 (1985a) 「日本本土諸方言アクセントの系譜と分布(1)」『日本学士院紀要』40(3), pp.215-250
- 上野善道 (1985b) 『モーラ音素とアクセント核との関係に関する調査資料集』昭和 59 年度科学研究費補助金 (一般研究 C) 研究成果報告書
- 上野善道 (1987) 「日本本土諸方言アクセントの系譜と分布(2)」『日本学士院紀要』42(1), pp.15-70
- 上野善道 (2003) 「第 4 章 アクセントの体系と仕組み」『朝倉日本語講座 3 音声・音韻』, pp.61-84
- 上野善道 (2006) 「日本語アクセントの再建」『言語研究』130, pp.1-42
- 金田一春彦 (1974) 『国語アクセントの史的研究—原理と方法』塙書房
- 中井幸比古 (2002) 「岡山県寒河方言のアクセント」『消滅に瀕した方言アクセントの緊急調査研究』3, pp.55-142
- 中井幸比古 (2008) 「岡山県日生方言における数詞のアクセント」『神戸外大論叢』59(1), pp.13-30
- 浜野博 (2008) 『日生の方言—岡山弁の異端—』手帖舎
- 日生町教育委員会 (1986) 『日生町文化シリーズ No.5 日生のことは』日生町教育委員会
- 松森晶子・新田哲夫・木部暢子・中井幸比古 (編著) (2012) 『日本語アクセント入門』三省堂
- 虫明吉治郎 (1954) 『岡山県方言の研究 第一輯 岡山県のアクセント (その一)』山陽図書出版

(なかざわ こうへい 大学院人文社会系研究科 助教)